

理事長所信（案）

（一社）鹿角青年会議所 2026 年度理事長予定者

湯瀬弘充

スローガン

つなぐ誇り、育む未来

はじめに

近年、日本は気候変動の深刻化やエネルギー不安、自然災害の頻発といった環境問題に直面しています。こうした影響は私たちの暮らしや地域経済に直接結びつき、安心して生活できる社会基盤を揺るがしています。鹿角地域においても人口減少や高齢化が進み、交通や医療、教育、そして地域コミュニティの維持が大きな課題となっています。暮らしを守り、未来へつなぐためには、行政や様々な企業・団体と共に、地域に生きる私たち一人ひとりが支え合い、環境と人の営みを調和させていくことが欠かせません。この鹿角の地に育まれてきた誇りと絆を、未来へと確かににつないでいくことが求められています。鹿角青年会議所は 1984 年の設立以来、地域とともに歩み、先輩諸兄姉のたゆまぬ努力によって築かれ、地域にとっても大きな財産であり、私たちにとって誇りそのものです。しかし今、私たちは厳しい現実に直面しています。会員数の減少や若者の流出に伴う地域力の衰退。これらは全国の青年会議所に共通する課題であると同時に、鹿角という地域の存続に関わる切実な問題でもあります。人口減少の進行は地域の担い手を減らし、結果としてまちの元気を奪っていきます。それでも、この地域には誇るべき自然や文化、そして人と人とのつながりが息づいています。その価値を再認識し、次世代へと確実につなぎ、未来を育んでいくことこそ、今の私たちに与えられた使命です。

基本方針

2026 年度、鹿角青年会議所は次の 3 つの基本方針を掲げ、具体的な行動へと落とし込みます。

1. 秋田ブロック大会に関する事業を全員で実施する

本年度、鹿角の地で秋田ブロック大会が開催されます。これは私たちにとって、単なる一つの行事ではありません。鹿角青年会議所の存在感を市内外に示し、地域の力を大きく発信する絶好の機会です。会員は大会に関する事業を通じて組織運営力や広報力、交渉力を磨き、さらには、人との繋がりを広げるなど、大きな経験を得ることができます。また、行政や企業、地域住民と協働し、「地域全体で盛り上げる大会」とすることで、鹿角に暮らす人々が自らのまちに誇りを持つきっかけになります。PR活動を積極的に展開すると共に、大会後も地域に残る“レガシー”を意識し、未来に語り継がれる事業とします。

2. 地域力の向上と魅力発信に資する

人口減少や情報発信力の不足により、鹿角の魅力が十分に伝わっていない現状があります。だからこそ、私たちが地域の情報発信の先頭に立ち、全国にその価値を届ける必要があります。魅力発信地域力向上委員会を中心に、地域の歴史や文化、自然や人材といった資源を再発掘し、交流事業やSNS・ホームページを通じて広く発信していきます。様々な媒体を通じ地域外からも関心を高めるとともに、住民自身が地元の魅力を再認識できる取り組みを進めます。また、若者や子どもたちにとって鹿角地域を「誇れるまち」と思える体験を提供することで、地元に愛着を持ち続けるきっかけをつくります。地域の魅力を内外に伝え続けることが、持続可能なまちづくりの第一歩であり、誇りの継承につながります。

3. 会員の資質向上・拡大に資する

青年会議所の運動の根幹は「修練・奉仕・友情」の三信条にあります。現代社会では若者が挑戦する機会を得にくく、失敗を恐れる傾向が強まっています。そのような時代だからこそ、「挑戦の場」であることを明確に示さなければなりません。具体的には、会員研修や各地青年会議所との交流、地域課題に挑むプロジェクトを通じて、リーダーシップや実行力を育成します。挑戦の中で失敗も経験し、それを糧に成長する環境を整えることが重要です。同時に、会員拡大運動を積極的に進めます。広報などを通じてJC運動の意義を発信し、新たな仲間を迎えることは組織の継続に不可欠です。拡大は単なる数の増加ではなく、次代を担う人材を育成し、地域全体の力を高め次世代につないでいきます。

青年会議所の役割

私たちは、まちのすべての課題を単独で解決することはできません。しかし、まちを良くするための「きっかけ」をつくり、運動の旗振り役となることはできます。市民一人ひとりが地域に関心を持ち、参加することで、大きなうねりが生まれる。その起点となる存在こそ、青年会議所です。鹿角地域において、私たちが「理想」を掲げ、挑戦を続けることが、やがて地域全体の誇りと力となると確信しています。

結びに

地域を変えるのは、行政や企業だけではありません。ここに生きる私たち青年が、未来を信じて動くことによってこそ、鹿角地域は新たな時代へと育まれます。

「誰かがやるのではなく、我々がやる
千代に八千代にこのまちの誇りを未来へつなぐために」

2026 年度、鹿角青年会議所は「つなぐ誇り、育む未来」を合言葉に、仲間とともに力強く歩んでまいります。